



町内には大小合わせて46カ所の公園があります。公園は子ども達の遊び場として、また住民の憩いの場として地域に不可欠な場所です。

しかし、時代の変化と共に地域のニーズに合わなくなった公園や、開園してから時間がたち、施設が老朽化した公園が出てきました。その結果、人のいない閑散とした寂しい公園も見られるようになりました。こうした公園は地域のコミュニティの場としての役割を果たさないだけでなく、安全面において住民に不安を与える場合もあります。

みんなでつくる公園

戸外に出ると気持ちのいい季節になりました。花を眺めながら散歩するのも、この季節の楽しみのひとつです。家々の庭や玄関先には色とりどりのたくさんの花。そして、公園でもまた、花だんにきれいな花が咲いているのを見かけることがあります。

今回は、「花の公園づくり」への町の取り組みと、公園で花を育てているボランティアグループを紹介しましょう。

みんなの公園



花いっぱいになーれ!

▲四季折々に咲く公園内の花はみんなの心をなごませます  
(写真はのびのび公園の花だん)

そこで町は、住民が積極的に公園に関わることで人々が集う、利用価値のある公園を作ることを目的に、平成13年度より「住民参加の公園づくり」に取り組んでおり、その中で花が大切な役割をしています。

町内の公園は町が管理していますが、島地区にある大島であい公園や、木津東山地区の東山公園は地元の自治会の協力を得て管理しています。東山公園では今年3月、公園のシンボルツリーとして樹齢約25年になるシダレザクラを植えました。植樹会は、子どもから大人まで住民約30人が参加し、皆がスコップを手に協働作業で進められました。

花は地域のシンボル  
～自治会の取り組み～

町内の公園は町が管理していますが、島地区にある大島であい公園や、木津東山地区の東山公園は地元の自治会の協力を得て管理しています。

花好きが集まりました

～アザレア・ネット・グリーンクラブ～

つつじが丘地区にある、のびのび公園中央の花だんには鮮やかに、パンジーやスイセンが咲いています。花だんの世話をするのは、アザレア・ネット・グリーンクラブ。「ネット」とはネットワークから付けられ、人の輪が広がるようにとの期待が込められています。その思いが通じ、当初7人で発足しましたが口コミで話が伝わり、花好きの人がどんどん集まり、現在メンバーは30代から70代までの男女14人になりました。メンバー達は、のびのび公園とともに、きらきら公園の花の管理もされています。

メンバーの井筒幸枝さんは「好きな花づくりなので苦労だと思ふ事はありません。ただ犬を散歩させる人や、ボール遊びをする子ども達には、花を守るやさしい気持ちを持って欲しいですね」と話されました。



町は昨年度より「花の公園づくり」を提唱し、公園で花づくりをするボランティアグループを応援しています。町内の公園で1グループ当たり約2㎡の花だんをつくり、苗・肥料・必要な資材の一部は町から提供を受け花を育てます。現在9カ所の公園で、7

花の公園づくり

町は昨年度より「花の公園づくり」を提唱し、公園で花づくりをするボランティアグループを応援しています。

広がれ花の輪

グループが花だんやコンテナなどで思い思いに工夫を凝らした花づくりをしています。都市整備課（766・8

704）では5月14日まで花づくりのグループを募集しています。花のある公園は人々に安らぎを与えてくれます。皆さんも花づくりに参加してみませんか。

花づくりを通じて  
人の輪を広げよう



都市整備課 平井秀明さんの話

花だんの手入れを継続的にする人々がいることで、子ども達を見守る目が生まれ、公園がみんなの利用し易い安全な場所となります。また、公園の花づくりによって地域の人の交流が生まれたらと思います。今後の課題はグループ間のネットワークをつくること。合同で花づくりの勉強会や見学会を開いたりして、輪が大きく広がってほしいです。

また、町のホームページの、都市整備課のページで公園の紹介をしています。花のある公園やおもしろい遊具のある公園など、興味のある公園を見つけたら出かけてみてください。

ここはみんなの社交場

～内馬場・伏見台福祉委員会～

伏見池公園北口には、あずまやを囲むように花だんが置かれ、可憐な花が道行く人の目を楽しませています。かつてここはごみが散らかり、草木は犬の糞尿で枯れて育ちませんでした。すっかりきれいに様変わりしたこの花だんの世話をしているのは、内馬場・伏見台福祉委員会のメンバー17人。花づくりへの理解を求める立看板を4カ所に立て丹精こめた花づくりを始めて1年、見違えるように気持ちのいい公園になりました。

メンバーの岡本和子さんは「幼稚園の送り迎えや、バスを乗り降りする人達が花を眺めながら休んでいきます。井戸端会議の場にもなっています。花がここをみんなの社交場にしました。手入れをしていると、声をかけてくれる人もいて、出会いもあります」と嬉しそうに話されました。



の公園が花でいっぱいになるといいですね。

編集後記



今回取材した花づくりグループの人達は、花に深い愛情を持って育てておられました。花が夏の暑さ、冬の寒さを耐え抜くにはこまめな世話が不可欠です。花のある公園はそんな皆さんの愛によって支えられています。これから公園を訪れ、きれいに咲いている花を見る度に、育てた人の心を思い出すことでしょう。これからもっと多くの花づくりグループが誕生し、町内

楽しんで読んでいただける特派員報告を目指し、今年度もがんばります。(松永ひさみ)

【いながわ特派員】

すてきな手づくり花だん

～コスモスクラブ～



旭ヶ丘地区にある、ひまわり公園入り口の斜面には、春の花が満開のすてきな花だんがあります。これは、今年設立14年目を迎える地元の老人クラブ・コスモスクラブのメンバー28人が、昨年土を掘りおこし、石、竹、木で囲ってつくりました。また公園の中には5つの花の樽もあり、今はきれいなパンジーが咲いています。

メンバーの小林光蔵さんは「この冬はとても寒く花づくりが難しいのではと心配しましたが、案外上手く咲かせることが出来ました。花は心を和ませます。いつまでもこの活動を続けたいです」と話されました。